

実は身近な発達障害

今こそ知りたい災害のリアル

～わたしたちができること～



令和5年
2月4日(土)

今こそ、名古屋で「災害を語り継ぐ」場を。
今年度は、出演者のお二人から、全国の被災地やコロナ禍での支援現場の実際を「具体的に」「リアルに」お話しいただきます。
災害対策の視点から、地域での発達障害児者支援において「大切なことは何か」、家庭・学校・事業所・地域で「何が出来るか」を一緒に考えませんか。

午後1時～4時 (受付開始:午後0時30分～)

ウインクあいち

(愛知県産業労働センター) 大ホール

名古屋市中村区名駅4丁目4番38号

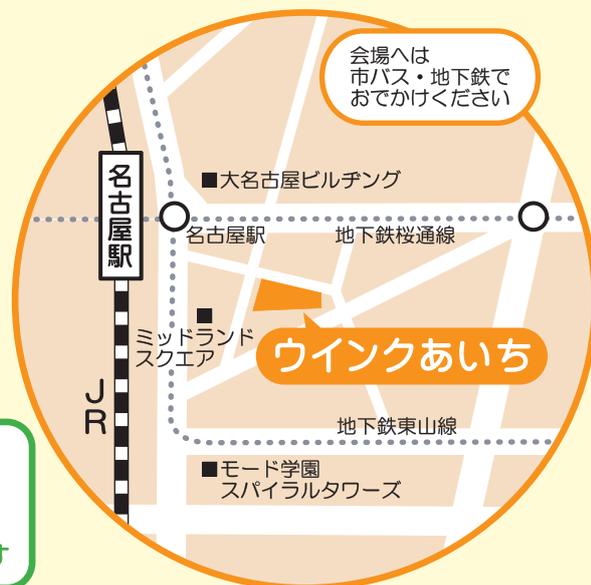
講師 内山登紀夫さん(精神科医)

水谷真さん

(社会福祉法人 AJU自立の家)

定員 400名

応募者多数の場合は抽選
参加の可否は1月下旬に通知します



実は身近な
発達障害

今こそ知りたい災害のリアル

～わたしたちが出来ること～

講師



内山登紀夫さん

精神科医/よこはま発達クリニック院長 よこはま発達相談室代表理事/ふくしま子どもの心のケアセンター/福島学院大学福祉学部 福祉心理学科 教授/日本発達障害ネットワーク 副理事長/日本自閉症協会 副会長

児童精神医学を専攻。主に自閉症スペクトラムなどの発達障害の診断や支援方法の研究・実践に取り組む。発達障害の成人の支援についても研究している。

東日本大震災時は福島大学に勤務しており、被災直後から現地で活動。福島の子どものメンタルヘルスに関する調査や支援方法の開発に取り組み続けている。著書多数。



水谷真さん

社会福祉法人AJU自立の家 わだちコンピュータハウス 前所長/名古屋市昭和区自立支援連絡協議会 防災部会 部会長

障害当事者運動の中から生まれた団体の職員として、障害者の自立や就労の実現を目指して、わだちコンピュータハウスの立ち上げから関わる。

長年、地元名古屋だけでなく全国各地で、被災地での救援活動や調査、障害者の災害時支援・防災活動のワークショップなどを行い、障害当事者の視点を活かした福祉のまちづくりや防災の仕組みづくりを提案している。

申込
方法

インターネット(電子申請)

または往復はがき(1枚で1名分)

申込
期間

令和4年

11月1日(火)～1月4日(水)

令和5年

(当日消印有効)

インターネット(電子申請)の場合

右のQRコード(名古屋市電子申請サービス)から申し込む。

当所のホームページにも案内を掲載しています。

りんくす名古屋研修案内

検索



携帯電話から
簡単アクセス!

往復はがきの場合

◎ 下の書き方を参考に必要事項をご記入の上、お申し込みください。当日消印有効です。

◎ 往復はがき1通につき、一人ずつお申し込みください。

◎ 郵便料金を確認ください。はがきの額面は63円です。

◎ 返信先の郵便番号も必ずご記入ください。

記入例

63	466-0858	(JIS用紙、 何枚記入しても可)
往信	名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋 宛	
	名古屋市昭和区折戸町四一十六	

往信おもて

返信うら

63	〇〇〇〇〇〇〇〇	2月4日講演会参加希望
返信	申込者ご本人のお名前	①氏名(ふりがな)
	申込者の住所	②住所
		③電話番号
		④職業
		※車イス席等、配慮が必要な方は その旨お書きください。

返信おもて

往信うら

問合せ先

〒466-0858 名古屋市昭和区折戸町4-16

名古屋市発達障害者支援センターりんくす名古屋

TEL:052-757-6140

※新型コロナウイルス感染状況などにより、中止または内容を変更する場合があります。ご了承ください。